

# 北斎かわらばん

すみだ北斎美術館ニュース

第14号

平成23年(2011年)9月発行



北斎の描いた

年中行事

②

— 重陽の節句 —

現在では馴染みが薄くなってしまいましたが、旧暦の九月九日は重陽の節句であり、正月七日(人日)、三月三日(上巳)、五月五日(端午)、七月七日(七夕)とともに五節句の一つです。江戸時代には、菊の花を浸した菊酒を飲んで邪気を払い、延命長寿を願いました。この菊酒の由来には菊慈童伝説があります。

菊慈童は、古代中国の周の皇帝穆王に仕えた美しい童子で、帝の寵愛を受けていました。ところが周囲の官僚から疎まれ、帝の枕を跨いだ罪により、酈県という深山に流されてしまいました。酈県は、生きては帰ることができないほどの僻地であったため、菊慈童を哀れんだ帝は、ありがたい経文を授けました。菊慈童は

毎朝このお経を唱えました。が、忘れないように傍らにあった菊の葉にこの経文を

書き付けました。この菊の葉におりた露が谷川へ流れ落ちたところ、谷の水は不老不死の靈力を宿すようになり、これを飲んだ菊慈童は八〇〇歳を過ぎても童形のままだったと伝えられています。



摺物「菊慈童」(墨田区所蔵ピーター・モース コレクション)

この物語は、江戸時代には能や浄瑠璃を通して広く知られており、本作品は文化(一八〇四〜一八二八年)初年頃に浄瑠璃の会の案内のために作られた摺物です。

北斎の描いた菊慈童は、一面に咲き乱れる菊の花の中で、足元には墨と硯、右手に筆、左手に菊の葉をささげ持ち、今まさに経を書き付けるところのようです。

菊慈童の小袖には、長寿の象徴である亀

甲模様が配され、画面上部に描かれた、横に長く棚引く霞が、菊慈童が仙境に住んでいるということを示しています。拡大図から見るとれるように、菊や谷川の流れは、凹凸をつけて表されています。この技法は空摺と呼ばれ、手の込んだ作りとなっています。



空摺部分の拡大図

【発行】  
墨田区民活動推進部  
文化振興課  
北斎美術館開設担当  
(墨田区役所1階)  
☎ 03-5608-6115

【編集協力】  
(助)墨田区文化振興財団  
北斎担当

ふれあい協力団体

すみだ

すみだ北斎美術館

## リーフレット「すみだと北斎」を発行

「すみだ」と北斎とのかかわりについて紹介したリーフレット「すみだと北斎」（日本語版・英語版）を発行しました。

北斎が残した「すみだ」にまつわる数多くのエピソードの中から、年代を追って六点を作品などとともにご紹介しています。

区役所一階の区民情報コーナーや主な区立施設、各観光案



内所等で配布しているほか、区公式ウェブサイト (<http://www.city.sumida.lg.jp>) からダウンロードすることもできます。

## 「日独交流一五〇周年記念北斎展」をドイツで開催中

現在、ドイツ連邦共和国ベルリン市で「北斎展」を開催しています。この展覧会は、日独交流一五〇周年記念事業の重要なイベントとして開催しているもので、北斎の肉筆画や版画など約四四〇点により北斎の画業の全容を紹介しています。

本区からも開設準備中である「すみだ北斎美術館」の所蔵品の中から約五十点を出品しており、本展覧会を通じて、北斎生誕の地「すみだ」の国際的なPRを行っています。

西洋の印象派の画家をはじめ、工芸家や音楽家など海外の芸術家にも影響を与えた北斎の作品は、ドイツの人々だけではなく、

展覧会を訪れるヨーロッパの多くの人々を魅了しています。

【会期】平成二十三年八月二十六日～十月二十四日（毎週火曜休館）

【会場】マルティン・グロピウス・パウ（ドイツ有数の国際美術展会場として知られ、年間五十万人以上の入館者を集めている施設です。）

【主催】墨田区、国際交流基金、日本経済新聞社、ベルリン芸術祭、マルティン・グロピウス・パウ、ベルリン日独センター



マルティン・グロピウス・パウ

## 邦楽演奏会「北斎の音楽を聴くⅢ」

北斎が描いた音楽に関する作品を通じて、北斎が活躍した江戸時代の音楽等を紹介する演奏会を開催します。詳細は決まり次第、すみだトリフォニーホールホームページ (<http://www.triphony.com>) 等でお知らせします。

【開催日時】

平成二十四年一月八日（日）

午後二時開演（午後一時三十分開場）

【会場】

すみだトリフォニーホール小ホール

【企画監修】

茂手木潔子（有明教育芸術短期大学教授・日本音楽研究）

【主催】

（財）墨田区文化振興財団

【共催】

墨田区

【問い合わせ】

トリフォニーホールチケットセンター

☎03・5608・1212

## 北斎祭り2011

北斎通りまちづくりの会主催の「北斎祭り2011」が、十月一日（土）・二日（日）に、区内の北斎通り周辺（亀沢一～四丁目）で開催されます。